

鶴見川多目的遊水地 6 周年記念

「鶴見川多目的遊水地一周ウォーキング」を開催しました。

日時：2009 年 6 月 14 日（日） 9：45～12：30

主催：NPO 法人鶴見川流域ネットワーク／連携・鶴見川流域ネットワーク

共催：鶴見川流域センター 後援：鶴見川流域水協議会

＜このイベントは、「きれいな川と暮らそう基金」からの助成を受けています。＞

鶴見川流域センターの前に広がる「鶴見川多目的遊水地」（ゆめ・オアシス）は流域を洪水から守る大切な役割を果たしています。また、河川環境を回復保全し、生きものの賑わいをまもりそだてる多自然川づくりの流域拠点でもあります。

この遊水地が 2003 年 6 月 15 日の運用開始から 6 周年を迎える記念として、遊水地一周ウォーキングを開催いたしました。

薄曇で、うっすらと汗をかく程よいウォーキング日和の中、16 名（大人 14 名・子ども 2 名）のメンバーで普段入ることのできない区間も含めた、遊水地の堤防を歩いて一周しました（約 5km）。また、途中の亀の甲橋下では、周辺のクリーンアップを実施し、きれいな川づくりへの取り組みを行いました。

そして、恒例の野外水族館も実施。スタッフが投網の実演をしたところ、いきなり大きなボラがかかりましたが、網を破って逃走。その後アユを見てもらおうと何度か投網を投げましたが、最初にボラが暴れた影響で残念ながらアユはかかりませんでした。そこで気をとりなおして、事前にスタッフが捕まえておいた魚やエビ、カニなどをご覧頂き、最後に、参加者がウォーキングに再出発する時に、最後のチャンスと投網を投げたところ、見事にアユがかかり、皆さんにご覧頂くことができました。

このウォーキングを通じて、周囲堤、越流堤、減勢池、排水門等を見学し、遊水地の規模、役割等を知っていただくとともに、生きもので賑わう鶴見川の姿も体感していただくことができました。

＜参加者からの声＞

- ・ 親子で参加でき、楽しく過ごすことができました。
- ・ 遊水地の構造、また鶴見川流域の自然（カメがいたり、キジがいたり）、大変有意義な時間を過ごせました。
- ・ 地元で長く住んでいますが、いろいろ教えてもらいながら歩く機会はなかなかないので、またぜひ参加したいと思います。
- ・ イベントに参加して、多目的遊水地の役割、すばらしい自然の様子が体験でき良かったと思います。
- ・ 今回、アユがとれないかと思ったが、とれて良かった。
- ・ 幸運にもカワセミ、キジ、アユを見ることが出来、大変良かったです。
- ・

＜野外水族館で確認できた生きもの＞

- ・アユ ・マハゼ ・スミウキゴリ ・ウキゴリ ・ヌマチチブ
- ・テナガエビ ・モクズガニ

※ 鶴見川流域センターでは、鶴見川のアユを飼育・展示しています。

（解禁期間にあわせて6月3日～10月中旬に展示中です。）



出発前のオリエンテーション



流域センターを出発



遊水地を囲む周囲堤を歩きます。



新横浜公園は遊水地の中にあります。



越流堤入り口
（ここから先は立入禁止、
特別に許可を頂き入ります。）



越流堤
（ここから増水時に鶴見川の水が
遊水地に入ります。）



越流堤出口
(越流堤は周囲堤よりも3M低くなっている
ので、上り坂になります。)



鶴見川流域
センター

流域センターをバックに
記念撮影



亀の甲橋下では
クリーンアップを行いました。



続いて、投網の実演



鶴見川の生きもの観察



3種類のハゼ
(マハゼ、ヌマチチブ、スミウキゴリ)



モクスガニ



最後にはアユも確認できました。



大きな排水門
(遊水地に貯まった水は、
ここから鶴見川に戻します。)



日産スタジアム等も遊水地内に立ってお
り、高床式になっています。
普段は駐車場ですが増水時は
進入禁止になります。



鳥山川沿いを歩きます。
(遊水地は鶴見川と鳥山川に
はさまれた立地になります。)



ゴール！
(流域センター屋上から、
今日のコースを一望できます。)